

関連項目：教育活動プラン①

## 自尊感情や有用感を高め、一人ひとりのよさを発揮する場を確保する

### 目的

自尊感情や有用感を高め、一人ひとりのよさを認め合うことで、支え合い高め合う仲間づくりができ、学校の楽しさにつながると考えました。そこで、いろいろな活動を通してよさを発揮できる場の確保をすることにしました。

### 内容

#### ● キラリカードの活用

「ありがとう」「すばらしいね」「がんばったね」カードの活用により、目に見える称賛の場を設けました。教師が褒める・友だち同士で認め合う・異学年の友だち同士で認め合う活動により自分や友だちのよさに気づくようになりました。また、各クラスに「キラリかがやけすてきなわたし」コーナーを作り、カードを掲示することで、自分や友だちのよさを見つける視点も広まりました。カードを活用して次のような取組をしました。

- 月ごとに集計し、カードをたくさん書いたクラスを表彰
- 集まったカードを使って、自分のよさや自分らしさに気づかせる授業の実施
- カードの内容が、自尊感情・有用感・学校の楽しさにつながるものを放送で紹介

#### ● 「S（すてきな）T（垂水っ子）P（プロジェクト）469（全校生の人数）」の活動

自分たちの学校を自分たちの力でよくするための取組として、7月から高学年の代表が中心となって活動を始めました。「あいさつのできるすてきな垂水っ子」を目指して、ポスター・全校朝会での呼びかけ・チェック表などを考え取り組んでいます。児童会役員や代表の子は、朝校門のところに立ち、あいさつを呼びかけています。あいさつが返ってくるたびに、自分たちがしていることに対して、自信と学校や垂水小学校のみんなのために役に立っているという有用感を高める場になりました。



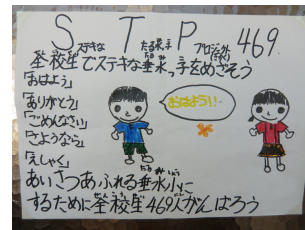
<各クラスのキラリコーナー>



<全校生への呼びかけ>



<朝のあいさつ運動>



<STP469のポスター>

#### ● 帰りの会で自分のがんばりや友だちのよさを発表する場の設定

常時活動として、全クラス帰りの会で「今日のキラリさんコーナー」「今日のががやきさんコーナー」などを設け、一日の中でがんばっていた人や親切にしていた人、友だちのよいところやがんばっているところなどを紹介しクラスみんなで賞賛する場としました。発表したことをキラリカードに書くことにもつながりました。

### 成果

よいところを見つけてカードに書く、カードを読み、認められた内容をみんなで共有するという取組を続けることで、自分のよさに改めて気づいたり、友だちに優しい言葉かけができる児童が増えました。また、STP469の活動のような児童に任せた活動を増やすことで自治力と実践力を身につけることができはじめ、新児童会役員も今年度の取組を続けていきたいという意欲をもち、「あいさつ」から楽しい学校にしようとしています。